第一薬科大学看護学部　看護学科カリキュラムマップ

看護学部設置の必要性

◇少子高齢化が進む都市型社会の地域医療を担う看護職への高い需要

◇超高齢社会において病気と共存する生活を支援するための保健医療福祉ニーズに応える地域基盤型教育の拡充の必要性

◇医薬品による医療事故予防や薬物療法の正しい理解の下で患者支援の能力を発揮できる看護職の必要性

養成する人材像

◇リーダーシップと惻隠の情を持った職業人 DP1

◇根拠に基づいて基礎的な看護を実践する能力をもった人材 DP2

◇看護を必要とする多様な場での多職種や地域と連携・協働する能力をもった人材　DP3, , DP4

◇薬剤による治療や予防を看護の視点でとらえる能力をもった人材　DP2, DP5

アドミッションポリシー

本学部の設置目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した3つのすべてを併せ持つ次のような学生を求める。

- 看護職者への明確な目的意識をもち、看護を通して地域医療に貢献しようという意欲を持っている人
- 専門的知識・技術の修得に必要な基礎学力を有している人
- 多様な人とコミュニケーションをとることができる人

カリキュラムポリシー

(1)豊かな人間性と幅広い教養とリーダーシップ能力の素地を培うための教養・基礎分野の科目を配置する。

(2)看護の対象としての人間の健康と疾病を理解し、根拠に基づいた看護実践能力を育成するために専門支持分野、基礎看護学分野、専門実践分野の科目を配置する。

(3)看護専門職として多様な分野で多職種と連携協働する力を養うために、地域基盤教育科目、領域横断展開科目を配置する。

(4)看護の視点で薬物療法をとらえ専門的援助ができる能力を育成するために薬学に関する科目を配置する。

(5)将来にわたり継続的に看護を探求し、自己研鑽をしていくための基礎的能力を養うための看護統合分野の科目を配置する。

(6)保健師教育課程、助産師教育課程を履修できる選択科目を配置する。

教　育　課　程

1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期

(1)

＜教養・基礎分野＞
◎人文科学科目：心理学、倫理学、哲学など
◎社会科学科目：医療コミュニケーション学、経済学、ジェンダー論など
◎自然科学科目：情報処理演習、スポーツなど
◎外国語科目：英語、韓国語など

幅広い教養
医療従事者としての教養
看護学への動機づけ

(2)

1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期
形態機能学Ⅰ メンタルヘルス論	形態機能学Ⅱ 生化学	病理学 微生物学	臨床医学論Ⅰ 臨床医学論Ⅱ 栄養学 疫学	救急医療論 ターミナルケア論（エンドオブライフ論）

人体の構造と機能に関する知識
臨床医学の知識
社会集団や健康政策の仕組みの理解

1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期
看護学概論 看護援助技術Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ	看護援助技術Ⅱ 看護援助技術Ⅲ	看護援助技術Ⅴ	看護援助技術Ⅳ ↓ 基礎看護学実習Ⅱ

看護師としての心構え
看護実践に必要な基礎知識の修得
根拠に基づく計画的ケア手法の修得

1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期
高齢者看護学実習Ⅰ	小児看護学概論 母性看護学概論	成人看護学概論 高齢者看護学概論 母性看護援助論Ⅰ 精神看護学概論	成人看護援助論Ⅰ 成人看護援助論Ⅱ 高齢者看護援助論 小児看護援助論 母性看護援助論Ⅱ 精神看護援助論	成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 高齢者看護学実習Ⅱ 小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習
	公衆衛生看護学概論	在宅看護論	在宅看護援助論 家族看護論	在宅看護論実習

各領域の看護ケアの知識と技能の修得

(3)

地域基盤教育科目／領域横断展開科目

1年	2年 前期	2年 後期	3年 前期
地域包括ケアシステム論	家族社会学 臨床心理学	地域保健 国際看護学	がん看護学 公衆衛生学 健康政策論 健康管理学

臨床・地域の看護領域連携課題への対応

統合実習　医療現場での看護実践

チーム医療

(4)

1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期
薬学への招待	漢方・民間薬概論	薬理学	臨床薬理学

総合看護学演習

薬理に関する基礎知識の修得
事例に基づく臨床判断力形成

(5)

看護管理・リーダーシップ論

スタディスキルセミナー

看護学研究Ⅰ → 看護学研究Ⅱ → 看護学研究Ⅱ

キャリアデザインセミナー

(6)

3年 後期	4年 前期
	公衆衛生看護活動展開論Ⅰ
基礎助産学	公衆衛生看護活動展開論Ⅱ
助産診断・技術学Ⅰ	公衆衛生看護援助方法論
助産診断・技術学Ⅱ	公衆衛生看護管理論
助産診断・技術学Ⅲ	公衆衛生看護学実習
助産診断・技術学Ⅳ	助産管理
周産期健康教育論	助産学実習

ディプロマポリシー

看護学部は、保健・医療・福祉を取り巻く社会情勢に対応し、看護専門職者として人々の健康を支援するために、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対し学士（看護学）の学位を授与する。

【DP1】
＜知識・態度＞
幅広い教養と看護の専門的知識を基盤に看護の責任と役割および自律性を認識し、看護職者として職業倫理に基づく良識ある看護を実践することができる。

【DP2】
＜技能＞
あらゆる健康レベルの看護対象を理解し、薬物療法に関する正しい知識を用いて、科学的根拠に基づく基礎的な看護を実践することができる。

【DP3】
＜保健医療福祉活動＞
多様な看護の場において多職種と連携・協働し、地域の保健・医療・福祉の課題に貢献することができる。

【DP4】
＜調整力＞
看護の専門性と役割を認識した調整力を発揮するためのリーダー的能力の素地を身に付けている。

【DP5】
＜自己研鑽＞
専門職業人として、医療の進歩や社会の動向を踏まえ、看護実践能力向上のために継続的に研鑽する基礎的能力を身につけている。

個人や集団・地域の人々の健康課題を改善し、健康づくりに貢献できる基礎的実践能力を身につけている。

安全安楽な助産ケアと生涯にわたる女性の性と生殖の健康を支援する基礎的実践能力を身につけている。

想定される進路・就職先

【国家試験受験資格】
・看護師
・保健師（選択者のみ）
・助産師（選択者のみ）

【看護師】
・病院
・介護福祉施設
・訪問看護ステーション
・行政機関
・大学院進学など

【保健師】
・保健所
・行政機関
・企業
・病院
・介護福祉施設
・訪問看護ステーション
・大学院進学など

【助産師】
・病院
・助産所
・介護福祉施設
・訪問看護ステーション
・行政機関
・大学院進学など

第一薬科大学看護学部 看護学科カリキュラムツリー

DP1　幅広い教養と看護の専門的知識を基盤に看護の責任と役割および自律性を認識し、看護職者として職業倫理に基づく良識ある看護を実践することができる。
DP2　あらゆる健康レベルの看護対象を理解し、薬物療法に関する正しい知識を用いて、科学的根拠に基づく基礎的な看護を実践することができる。
DP3　多様な看護の場において多職種と連携・協働し、地域の保健・医療・福祉の課題に貢献することができる。
DP4　看護の多様な場で、看護の専門性と役割を認識した調整力を発揮するためのリーダー的能力の素地を身に付けている。
DP5　専門職業人として、医療の進歩や社会の動向を踏まえ、看護実践能力向上のために継続的に研鑽する基礎的能力を身につけている。

4年次

看護統合分野

領域横断展開科目：　国際看護学　がん看護学　チーム医療　**総合看護学演習**
キャリア開発科目：　キャリアデザインセミナー　看護管理・リーダーシップ論

統　合　実　習

3年次

看護学領域別臨地実習

精神看護学実習　**成人看護学実習**　**小児看護学実習**　**母性看護学実習**　**高齢者看護学実習 II**　**在宅看護論実習**

看護統合分野

地域看護学
在宅看護概論
在宅看護援助論
公衆衛生看護学概論
家族看護論

保健師教育科目
公衆衛生看護学実習
公衆衛生看護活動論 I・II
公衆衛生看護方法論
公衆衛生看護管理論

助産師教育科目
助産学実習
基礎助産学
助産診断・技術学 I・II・III・IV
周産期健康教育論
助産管理

選択科目

精神看護学
精神看護学概論
精神看護援助論

成人看護学
成人看護学概論
成人看護援助論 I
成人看護援助論 II

小児看護学
小児看護学概論
小児看護援助論

母性看護学
母性看護学概論
母性看護援助論

高齢者看護学
高齢者看護学概論
高齢者看護援助論

2年次

基礎看護学分野

基礎看護学科目
看護援助技術 V
看護援助技術IV
看護援助技術III
看護援助技術 II
看護援助技術 I
看護学概論

基礎看護学実習 II

早期体験実習
基礎看護学実習 I　**高齢者看護学実習 I**

専門支持分野

地域基盤教育科目
地域包括ケアシステム論
公衆衛生科学
地域保健　疫学　健康政策論　健康管理学　家族社会学　臨床心理学

疾病基礎理論科目
病理学　微生物学
薬理学　臨床薬理学
臨床医学論 I ・ II
漢方･民間薬概論
救急医療概論
ターミナルケア論（エンドオブライフケア論）

形態機能学科目
形態機能学 I・II　生化学
栄養学

1年次

教養・基礎分野

人文科学科目
心理学　文章表現論
倫理学　看護倫理学
文学 I・II
生命・医療倫理学
哲学 I・II

社会科学科目
医療コミュニケーション学
薬学への招待
経済学 I ・ II　日本国憲法
ジェンダー論

自然科学科目
情報処理演習 I ・ II
スポーツ I・II　（看護学生のための生物・化学　看護学生のための数学・物理）

外国語科目
英語　英会話
中国語 I・II
韓国語 I・II
フランス語 I・II

スタディスキルセミナー
メンタルヘルス論
スタディスキルセミナー

看護学研究 I・II・III